

平成30年度:災害看護 3. 11メモリアル企画

教育計画P52 参照

平成31年1月4日 現在

1. 研修ねらい：災害に関する情報交換の場とし、支援活動に活かす
2. 日 時：平成31年3月11日（月）10：00～16：00
3. 対 象 者：埼玉県看護協会災害支援ナース、一般看護師、その他
4. 研 修 目 的：1) 災害に関する情報交換の場として、支援活動に活かす。
2) 3. 11等の大災害を忘れずに、伝え繋げていく。
3) 当該年度に発生した災害の報告と復興の現状を共有化する。
5. 本 年 度 の：平成30年度も、大阪北部地震・西日本豪雨・北海道胆振東部地震等、「災害企画主旨は忘れた頃にやってくる」ではなく、忘れないうちに次々と発生しているのが現状である。また、その発生間隔は、支援をまだまだ必要としている現状にも関わらず、次の新たな災害対応をと、いくつもの災害を同時に、その時期を重ねながらの支援活動となることは言うまでもない。

当協会の災害支援ナースは250名前後を確保しているが、本年度は、日本看護協会から当協会への派遣要請はなかった。しかし、先に述べた災害被災地には、多数の看護職が支援活動をすすめてきた。

そこで、今年度の3. 11メモリアル企画では、当該年度に発生した西日本豪雨・北海道胆振東部地震において、各看護職として、それぞれの立場や役割ですすめられた支援活動の報告と、その活動の中で、発災前の研修を含めた防災・減災・備災活動がどのように効果があったか、また、どのように役立ったかの内容を加えた情報提供を依頼した。

また、研修アンケートにも最近多くある訪問看護における防災・減災・備災活動を学びたいという声から、「東日本大震災を体験して、その後7年間訪問看護師として見えてきたこと」と題して、訪問看護における防災・減災・備災活動と災害支援活動の実際についての講義を依頼した。

以上の内容を主軸に、当日のスケジュールを次に計画した。

当日スケジュール(案)

- 10:00～ 挨拶
災害看護研修担当者からの研修の主旨説明
- 10:10～ 東日本大震災を体験し、その後7年間の訪問看護師として見えてきたこと
石巻市 ミニむつき庵 てあーてサロン 及川 敦子 氏
(質疑応答含む)
- 12:00～ 休憩
- 13:00～ 東日本大震災及び西日本豪雨の支援を通して
—行政・医療・看護 何が変わったか—
東京家政大学 齋藤 正子 氏
- 14:00～ 休憩
- 14:10～ 北海道胆振東部地震における北海道看護協会の活動と今後の課題
—研修・セミナー・経験等から得たこと、活かし実践できたことも含め—
北海道看護協会 専務理事 荒木 美枝 氏
- 15:10～ 意見交換会・質疑応答
- 16:00～ 閉会

※都合により時間に変更になることもございます。予めご了承ください。